



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

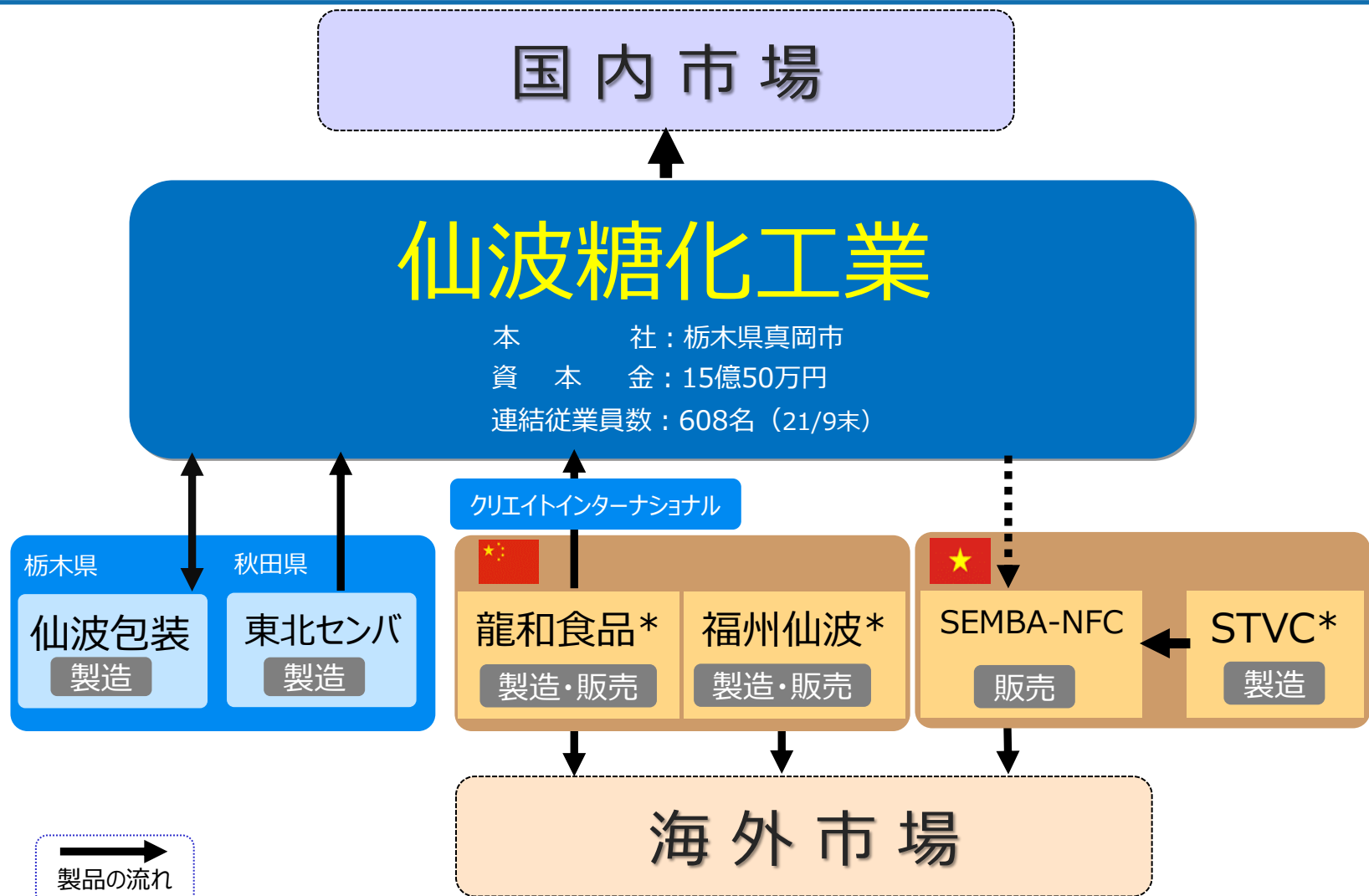
個人投資家様向け会社説明会資料

2022年3月13日

目次

I	会社概要	P 2
II	成長戦略	P13
III	2022/3期業績予想	P25
IV	株主還元	P28
	参考データ	P31

I . 会社概要

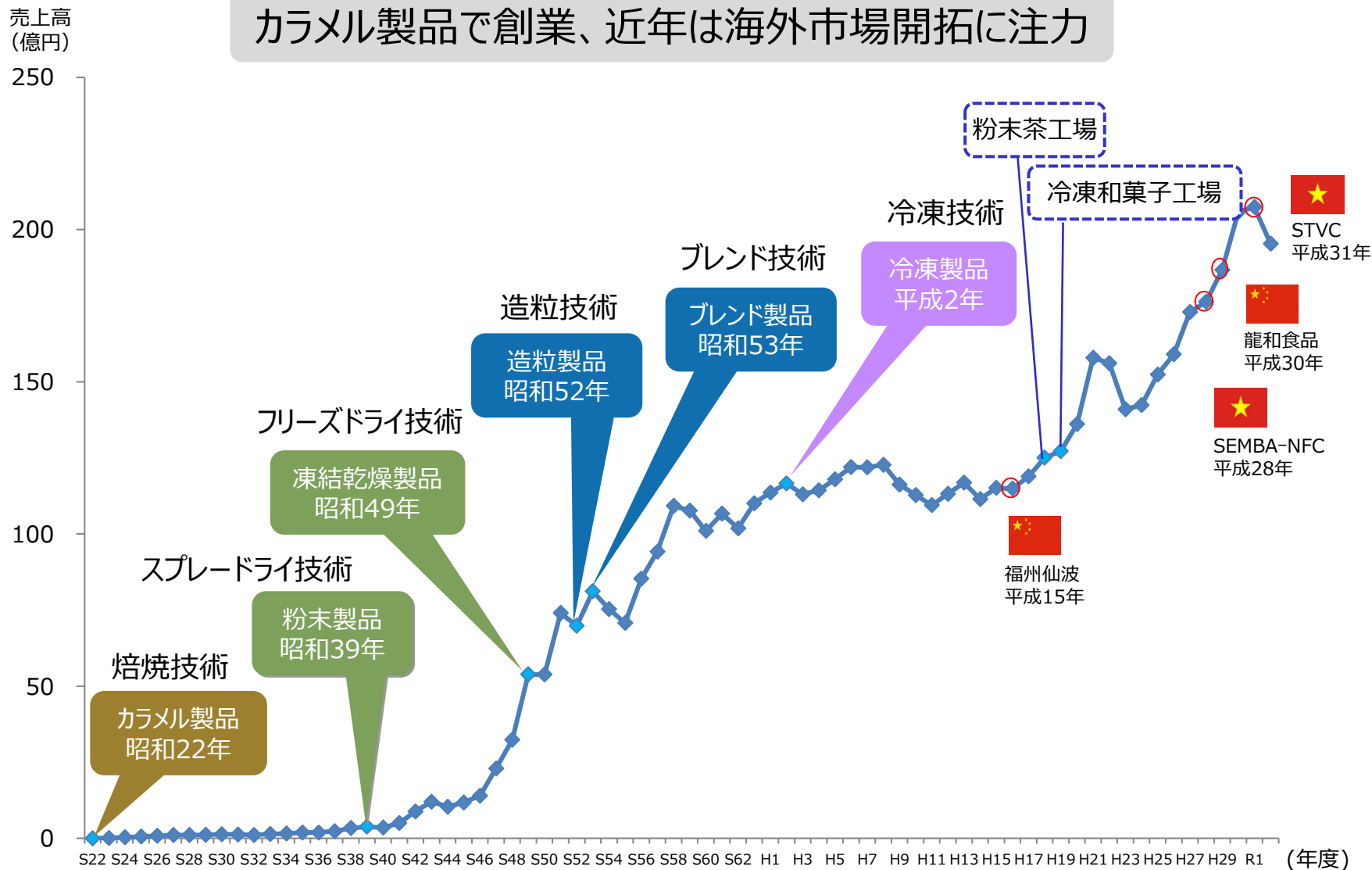


龍和食品*：福建龍和食品実業

福州仙波*：福州仙波糖化食品

STVC*：SEMBA TOHKA VIETNAM COMPANY LIMITED

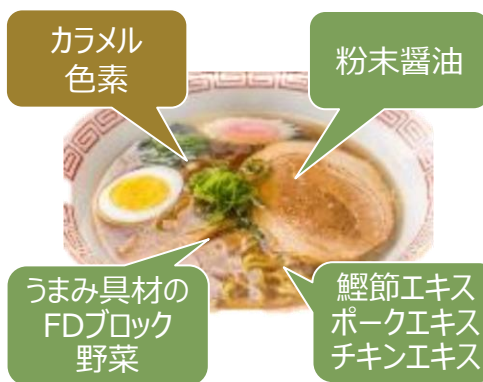
カaramel製品で創業、近年は海外市場開拓に注力



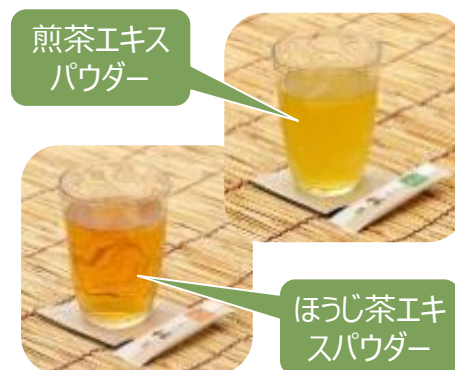
- カスタードプリン、炭酸飲料・コーヒー牛乳 にも…



- インスタントラーメン にも…



- 粉末茶 にも…



- インスタントコーンスープ にも…



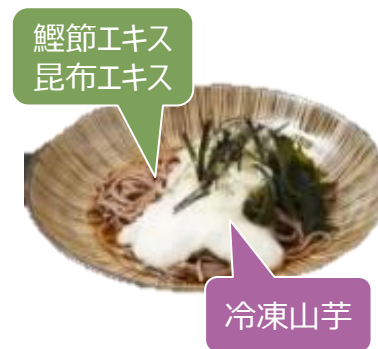
- 即席味噌汁 にも…

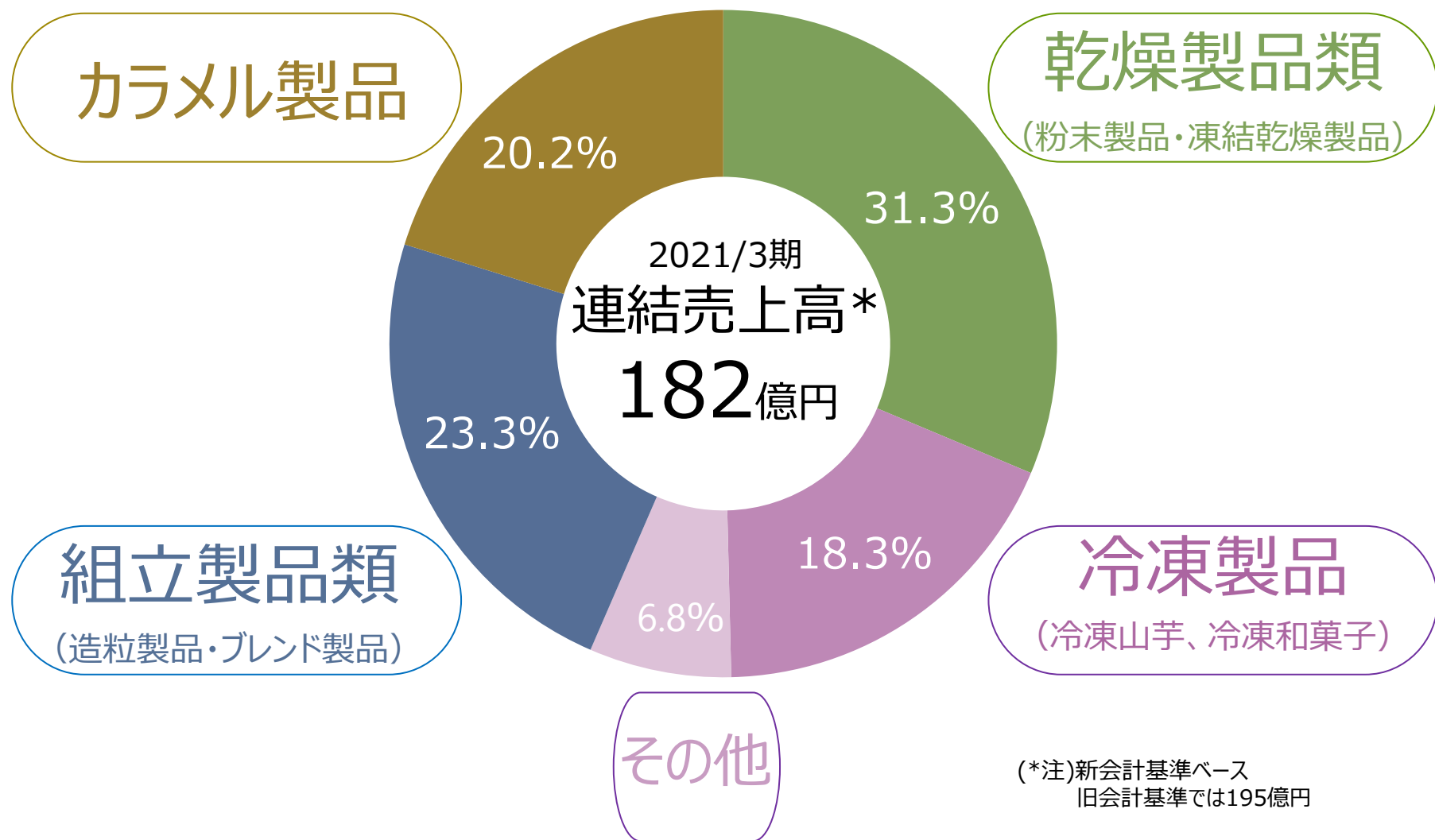


- お好み焼き にも…



- とろろそば にも…

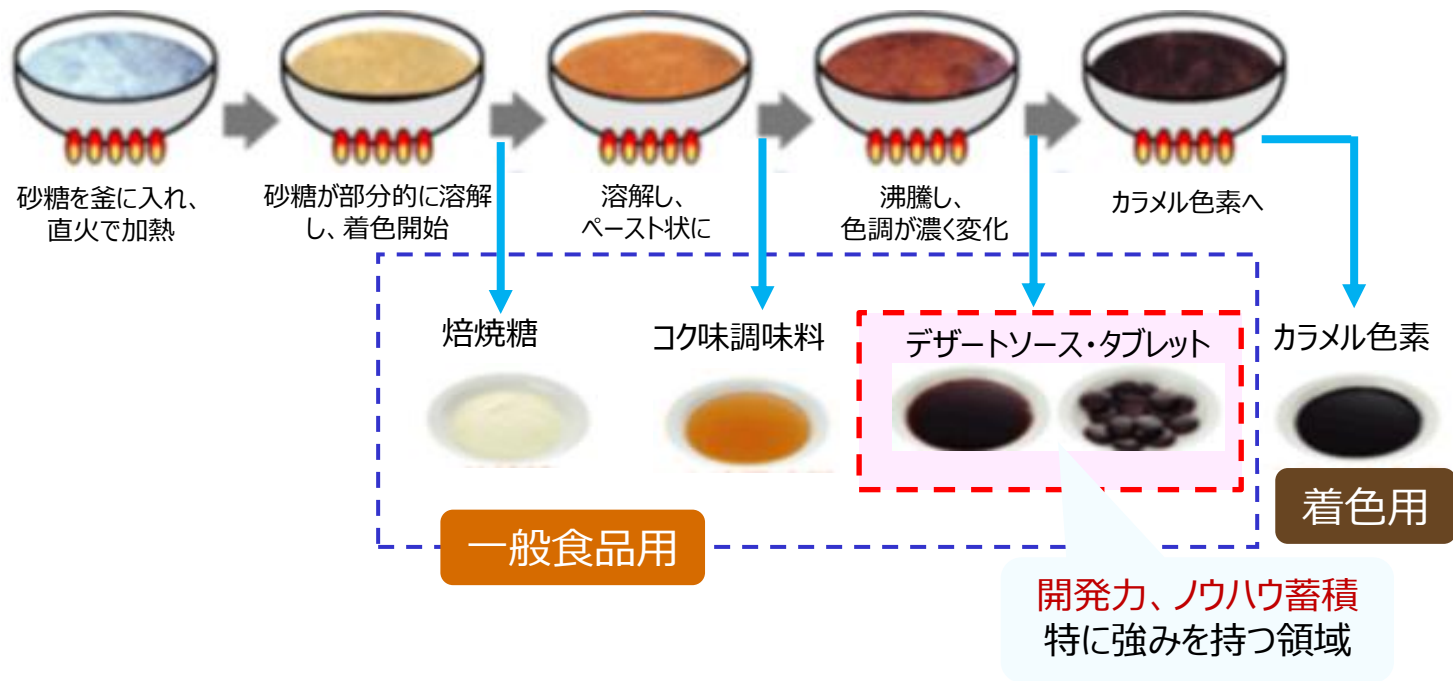




- 創業商材。国内シェアトップ
- 焙焼技術で着色用と一般食品用を作り分け
- 高付加価値のデザート向け新製品開発に注力
- 海外顧客の取り込み強化で成長を目指す

焙焼技術とは

糖を独自のノウハウで加熱し、多用途な製品を作り分ける。
カaramel製品は用途に応じて液状製品と固形製品に大別される。



一般食品用

- ◆ プリン等のデザート向けやココ味調味料向けが主力。
- ◆ バウムクーヘンやクリームブリュレ等の
高級洋菓子向け需要が拡大。

一般食品向け製品例

カaramelソース
(ボトル品) (顆粒品)



カaramelソース
(タブレット)



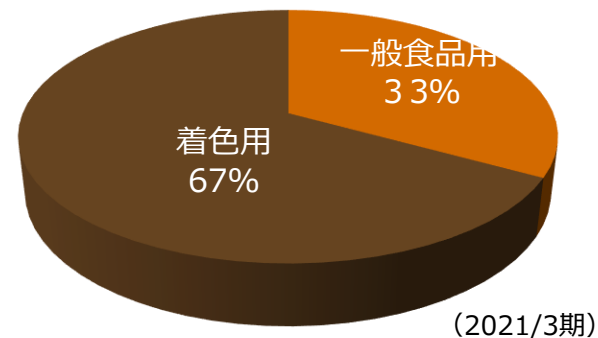
キャンディー・チップ



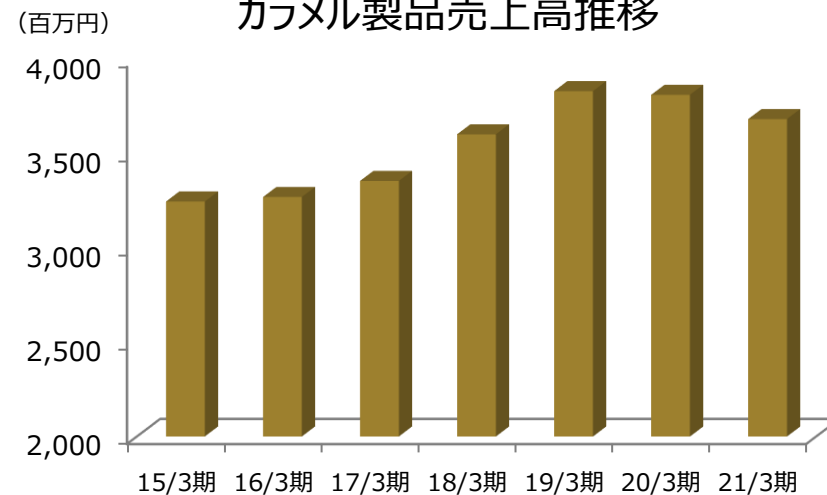
着色用

- ◆ 清涼飲料やアルコール飲料
- ◆ ソース、カレー等

用途別カaramel製品売上構成



カaramel製品売上高推移



- 売上高の約80%は B to B、粉末製品と凍結乾燥製品を手掛ける
- 粉末製品は、粉末茶や粉末調味料（味噌や醤油）などを販売
- 凍結乾燥製品は、野菜ブロックや粉末山芋が主力

当社の主力製造技術

粉末製品

スプレードライ(SD)技術

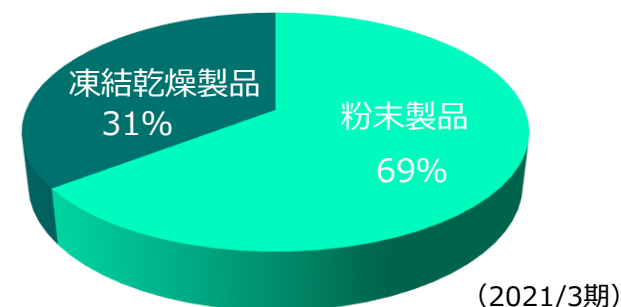
液状化した原料を霧状にし、加熱空気ですべて瞬間的に粉末化する乾燥技術。乾燥工程が短く、大量生産に威力を発揮し、高品質で、低コストな製品の安定供給が可能。

凍結乾燥製品

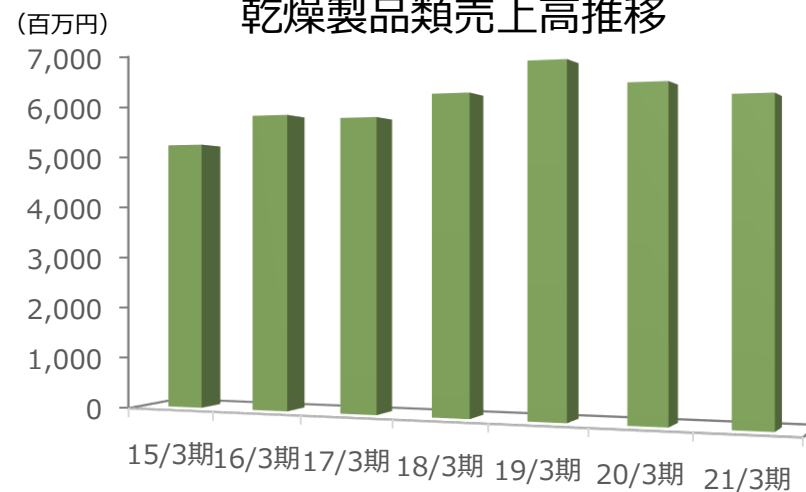
フリーズドライ(FD)技術

凍結させた原料を真空状態のもと、低温で乾燥させる技術。素材の色、味、香り、栄養をそこなうことなく乾燥することが可能。保存性や簡便性に加えて、機能性が高い乾燥方法。

乾燥製品類売上構成



乾燥製品類売上高推移



国内市場向け

粉末製品例



凍結乾燥製品例



聖シリーズ【煎茶】【ほうじ茶】



稀シリーズ【煎茶】【ほうじ茶】



【紅茶】



【玄米茶】



【麦茶】

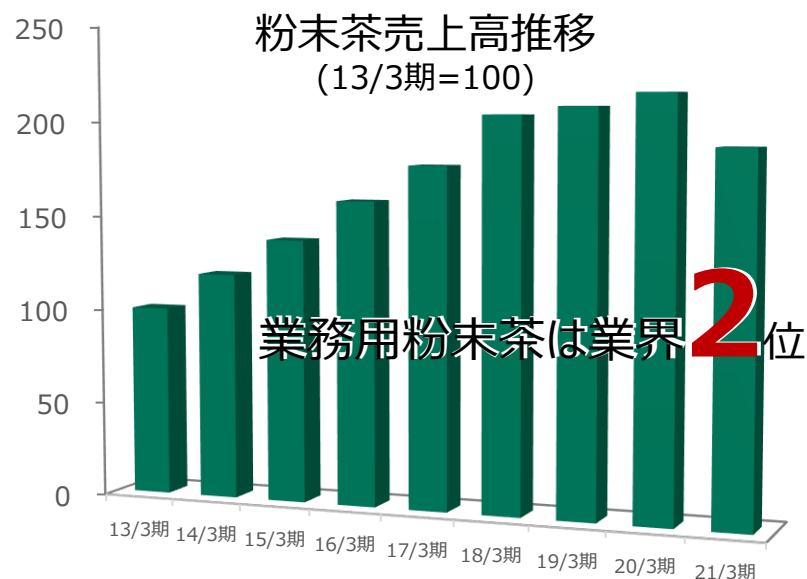


海外市場向け

粉末製品例

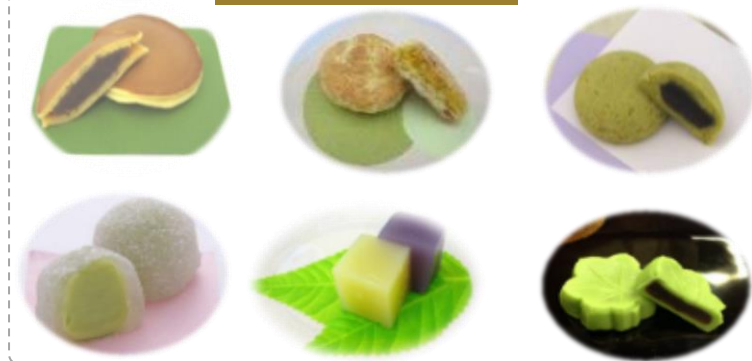


凍結乾燥製品例



- 冷凍和菓子はメディアケア市場向け中心に、約50種類を販売
- 冷凍山芋は業務用・CVS向け中心。取扱量は業界 2 位
- 中国子会社は主に冷凍デザート製品を手掛ける

冷凍和菓子



その他(海外)



【タピオカ】

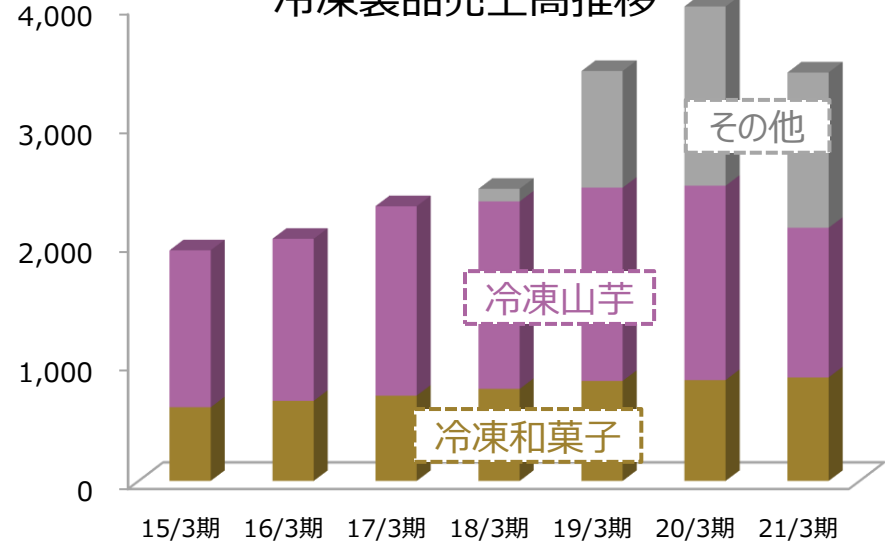
【ライチゼリー】

冷凍山芋



(百万円)

冷凍製品売上高推移



- 造粒製品とブレンド製品とも受託加工が中心
- 溶け易くななどのキーワードで提案営業を強化
- 現在は、健康食品関連製品の受託が牽引

造粒とは

粉末食品の「溶けにくい」、「流動性が悪い」、「吸湿性が強い」等を改善し、より使い易い最終商品へ仕上げる。

造粒製品

スープ類、健康食品、スポーツ飲料、ココア等



ブレンドとは

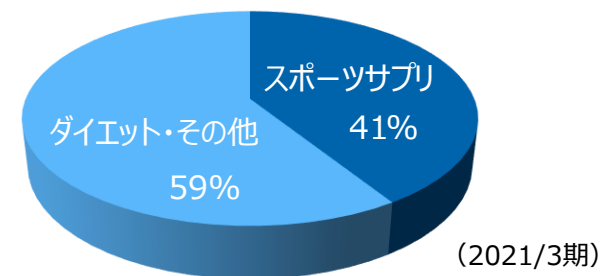
各種原料を混合し、原料の持ち味を活かした粉末状調味料やインスタント食品などを製造する。

ブレンド製品

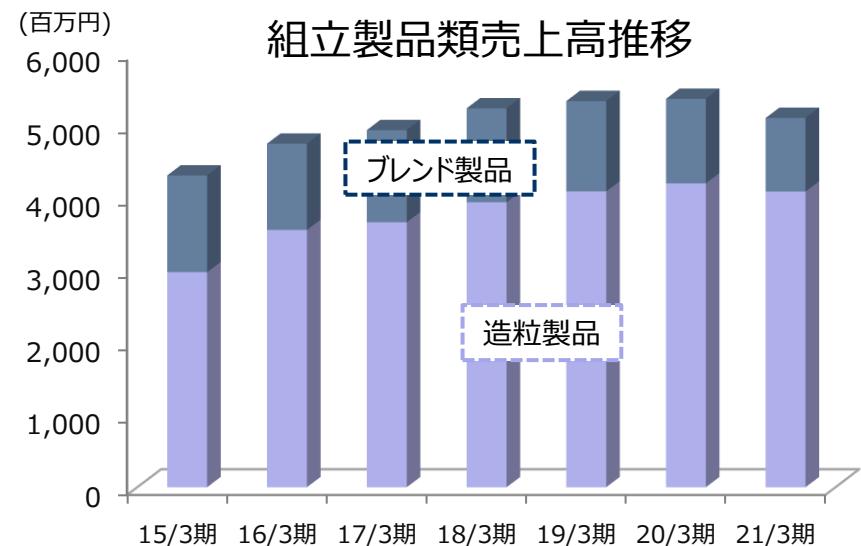
小麦粉ミックス、唐揚げ粉、みそ汁、粉末エキス等



健康食品の売上構成

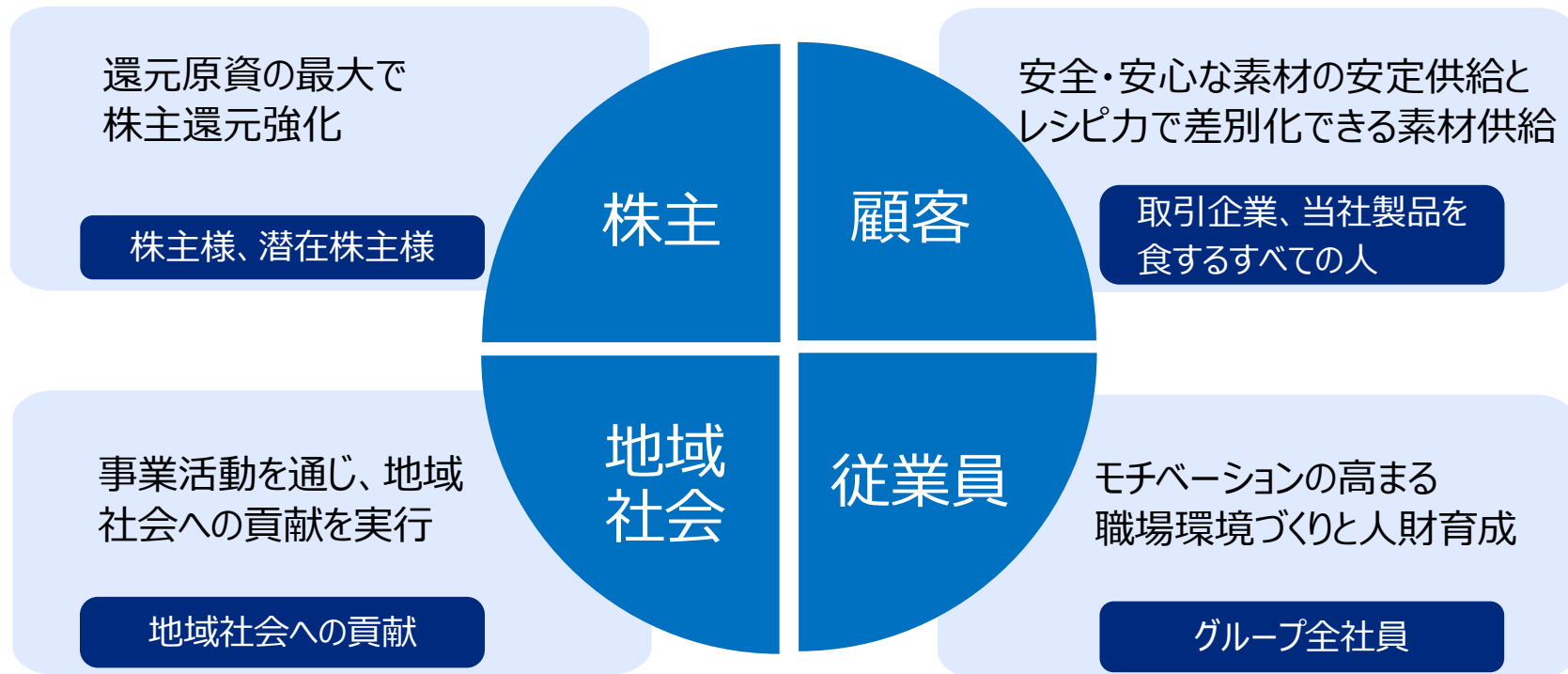


組立製品類売上高推移



Ⅱ．成長戦略

100年企業に向けた強固な基盤を構築



より良いものを作り、顧客信頼度を向上させ、
収益を伸ばすことで株主様、従業員、地域社会への還元を増やす

基本戦略

グループ経営力強化

- ◆ 海外子会社管理強化
- ◆ 個別経営からの脱却

自社商材拡販

- ◆ 開発強化
- ◆ 提案営業強化

海外市場開拓

- ◆ 中国市場対応
- ◆ 東南アジア市場対応

営業キャッシュフローの最大化を目指す

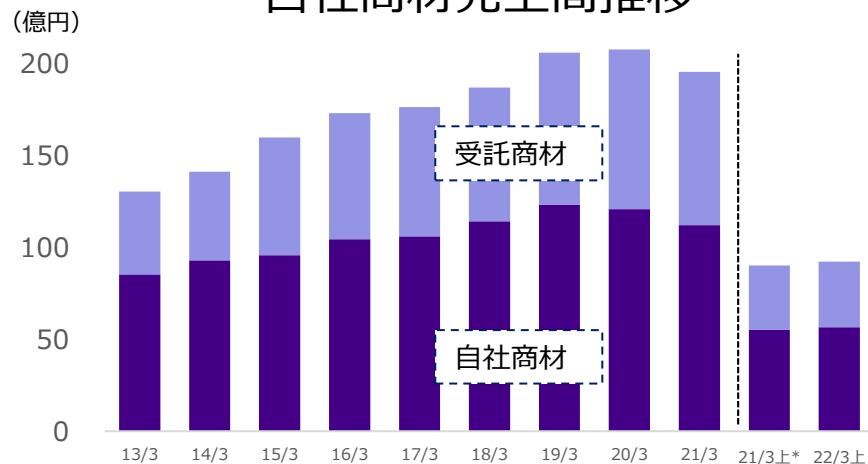
成長投資資金の確保と還元強化

注) 営業キャッシュフロー = 営業利益 + 減価償却費

当面の重点戦略

海外事業基盤の整備と **ポスト新型コロナの事業戦略再考**

自社商材売上高推移



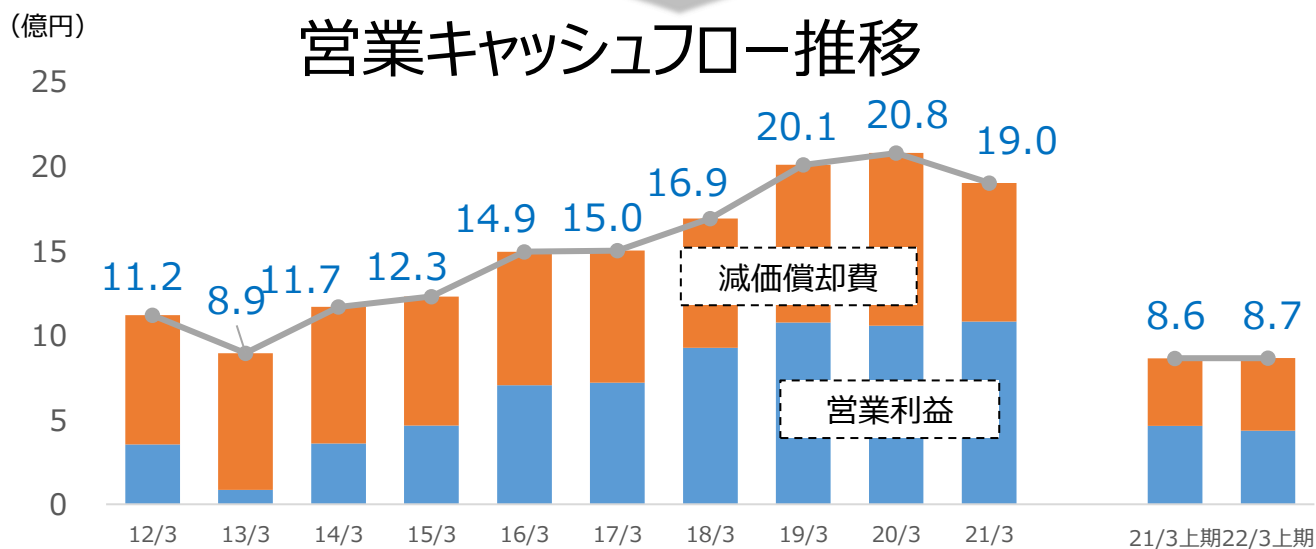
海外市場向け売上高推移

(単位：百万円)

	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3 上期*	22/3 上期
海外売上高	264	1,497	1,403	1,348	526	615
海外売上比率*	1.4%	7.3%	6.8%	6.9%	5.8%	6.7%
海外子会社	225	1,465	1,342	1,256	514	605
輸出	39	32	61	92	12	10

(注*) 21/3上期の売上高は、新会計基準に基づく試算値

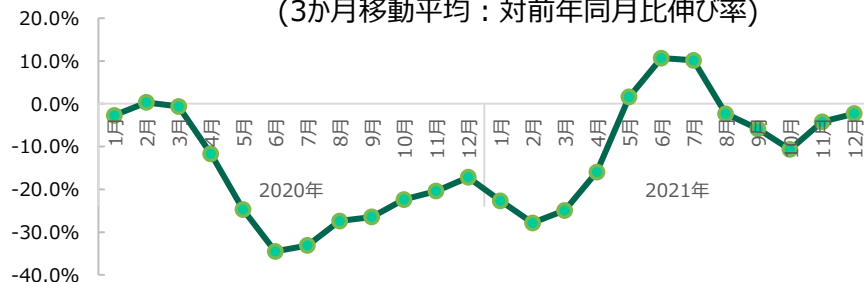
営業キャッシュフロー推移



粉末茶

- オフィス向け需要の回復鈍い

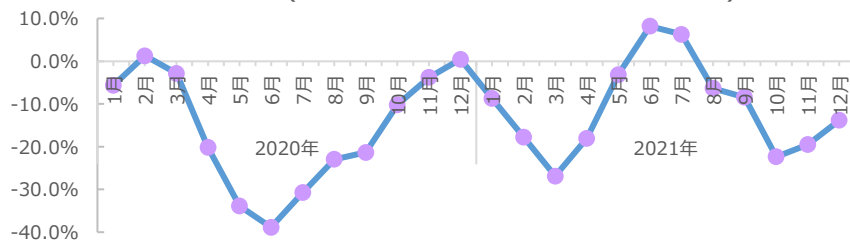
給茶機向け粉末茶月次売上動向
(3か月移動平均：対前年同月伸び率)



冷凍山芋

- 外食向け需要の回復に遅れ

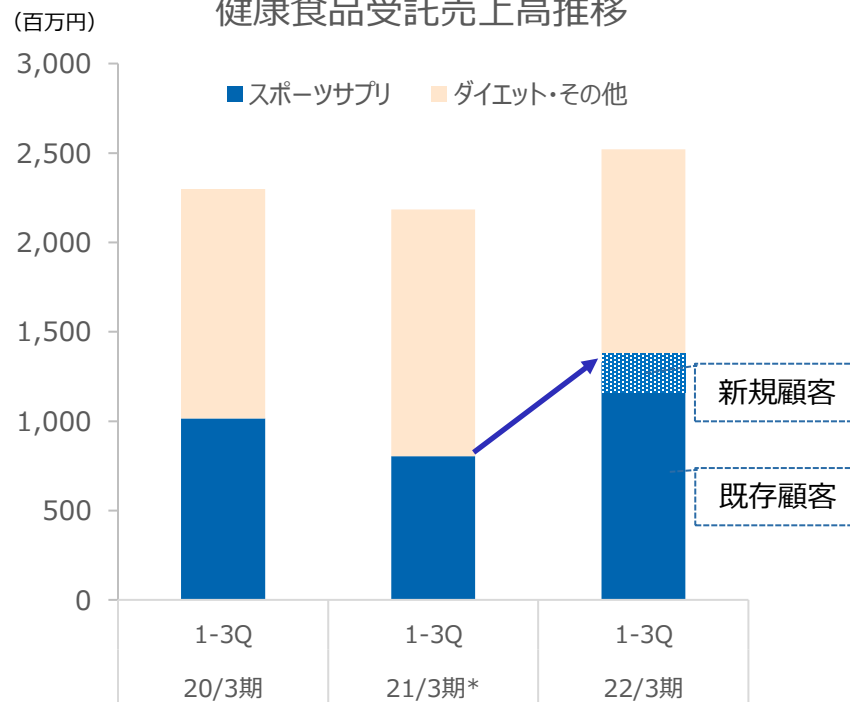
冷凍山芋月次売上動向
(3か月移動平均：前年同月伸び率)



健康食品受託

- スポーツサプリの受注回復と新規顧客開拓が貢献

健康食品受託売上高推移



(*注)21/3期の売上高は新会計基準に基づく試算値

大半の製品は新型コロナ終息後に需要は回復する見込み

ただ、

新型コロナ終息後も 在宅ワーク定着の可能性大

オフィス向け製品の需要回復の遅れ

従来の粉末製品事業戦略

▶ オフィス向け商材拡販

- ・粉末茶
- ・給茶機向け粉末製品

見直し

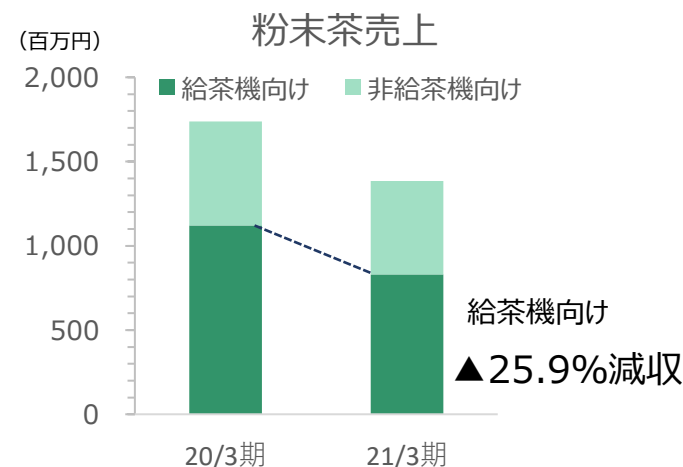
▶ 非オフィス向け商材拡販

- ・粉末茶
- ・和風調味料など

加速

開発強化で新規顧客開拓

新規顧客も含め
試作増加中



海外子会社の管理体制強化

経営体制

- ◆ 中国事業管掌役員が
龍和食品の董事長に就任
- ◆ ベトナム事業管掌役員が
STVC社長就任

管理体制

- ◆ 海外収益の邦貨換算時
の為替レート基準変更

中国市場対応

中国子会社の 収益基盤拡充

2019/11

新工場竣工

デザートドリンク向け製品
の品揃え強化

東南アジア市場対応

ベトナムの拠点整備

2016/10

SEMBA-NFC設立(販社)

2019/3

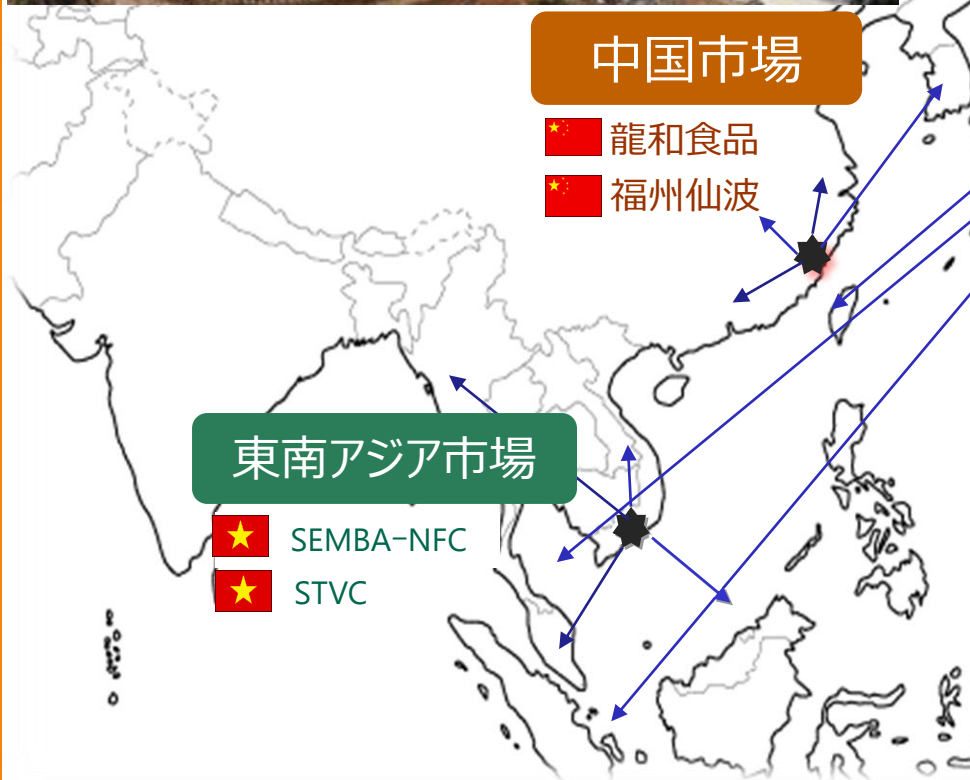
ベトナム製造子会社設立

2020/3

新工場建設開始

2021/9

全設備の設置完了



【海外事業従業員】(2021/3期)

従業員数(臨時雇用者除く)		出向者
福州仙波食品	9人	中国事業 5人
福建龍和食品	110人	中国事業 5人
SEMBA-NFC	3人	ベトナム事業 4人
STVC	9人	ベトナム事業 4人

【海外事業収益】

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
中国事業					
売上高	46	195	2,496	2,692	2,473
営業利益	▲20	77	260	239	160
ベトナム事業					
売上高	1	30	41	77	117
営業利益	▲0	▲1	3	0	▲5

(注) 売上高、営業利益とも海外子会社単純合算ベース

中国市場に日本製品基準を届ける一方、 日本向け製品の製造拠点

【製造品目】

龍和食品

凍結乾燥製品

冷凍・冷蔵製品

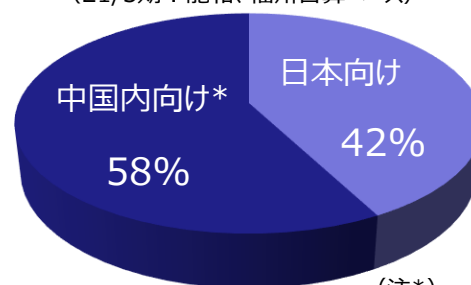
福州仙波

粉末製品

カaramel製品

向け先別売上構成

(21/3期：龍和、福州合算ベース)



(注*) 一部韓国向け輸出含む



龍和食品及び福州仙波外観



冷凍製品

タピオカ



冷蔵製品

レトルト白キクラゲ



求肥



凍結乾燥製品

スープブロック



白キクラゲブロック



カップ春雨



東南アジア市場へ日本品質基準製品を届け、 成長市場を取り込む

製造子会社

STVC

2019年設立

【製造品目】

カaramel製品

粉末製品

組立製品

販売子会社

SEMBA-NFC

2016年設立

【ベトナム事業拠点】



STVCの外観

【21年9月】

新型コロナの影響で設置の遅れていたスプレードライヤー設備が完成。

【21年10月】

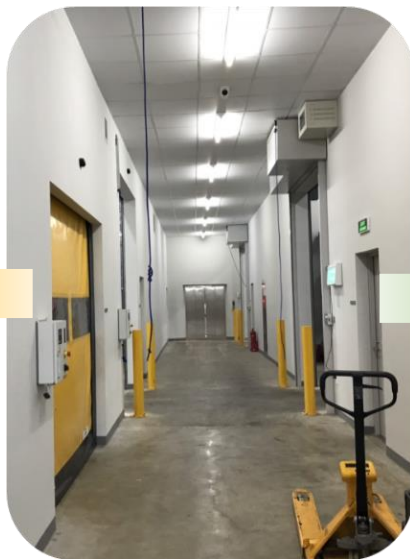
ドンナイ省のロックダウン解除で本格稼働に向けた試運転開始



ベトナム新工場の従業員

ベトナム新工場内部

カラメル室



スプレードライ室



前処理



スプレードライヤー

早期のフル稼働に向けて、営業力強化を図る

Ⅲ.2022/3期業績予想

2022年3月期の第3四半期決算概要

- ✓1-3Q累計の売上高は、新型コロナの影響残るも、新規顧客開拓の成果もあり、実質(会計基準変更要因除くベース)で1.9%増収
- ✓営業利益は、原・燃料コスト上昇や減価償却費増加などを経費削減ではカバーできず、22.4%減益
- ✓為替差損及び特別損失なくなり、四半期純利益は6.2%増益

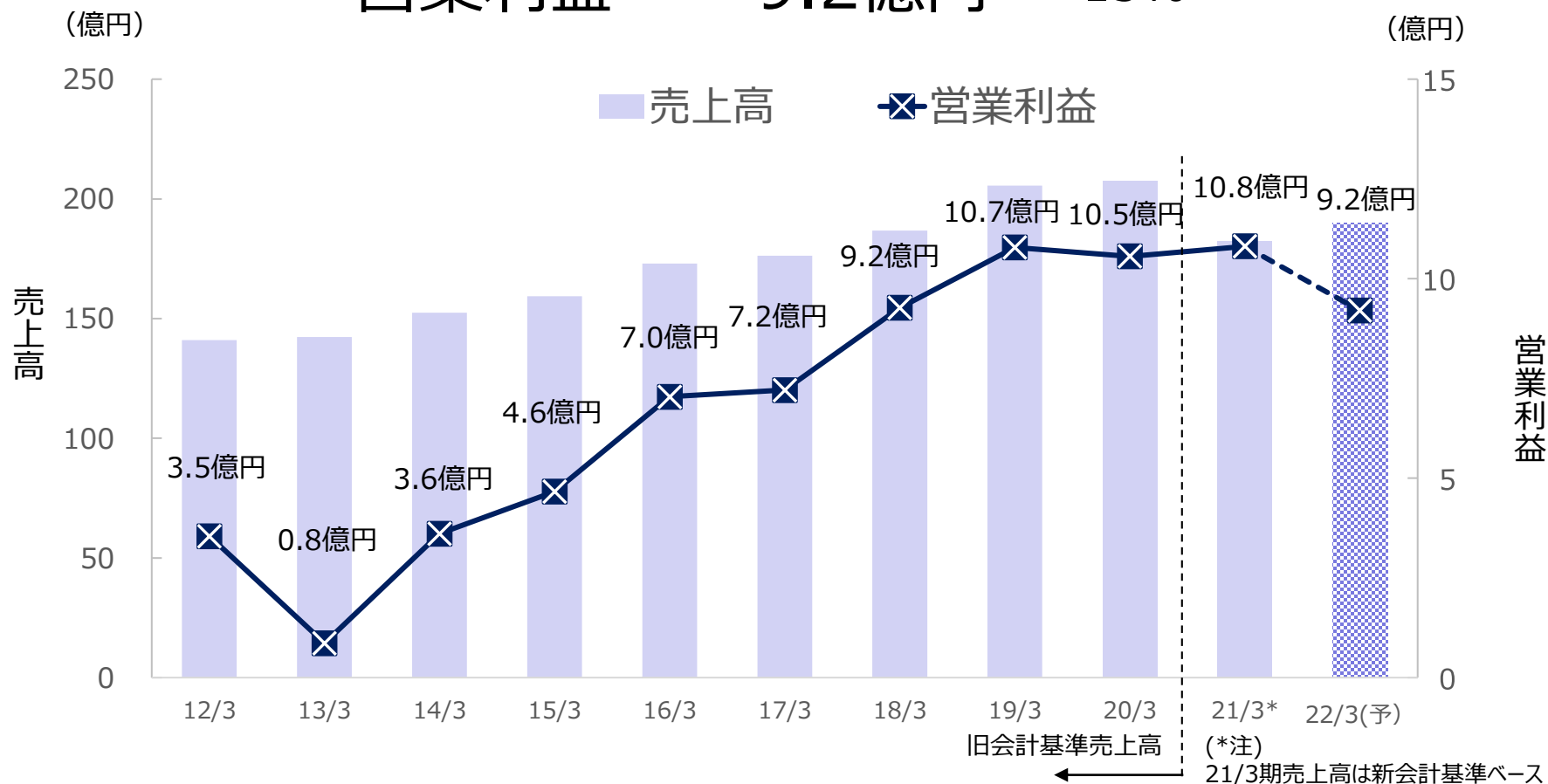
(単位：百万円、円)

	2021/3期		2022/3期		
	1-3Q*	前同比 (伸び率)	1-3Q	前同比 (伸び率)	通期 進捗率
売上高	13,928	－	14,193	+1.9%	74.7%
営業利益	875	▲3.9%	678	▲22.4%	73.8%
経常利益	775	▲14.7%	712	▲8.1%	77.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	461	▲20.9%	490	+6.2%	75.4%
1株純利益	40.56	－	43.05	－	－

(*注)21/3期の1-3Q期の売上高は新会計基準に基づく試算値のため伸び率は非記載、22/3期の増収率は参考値。

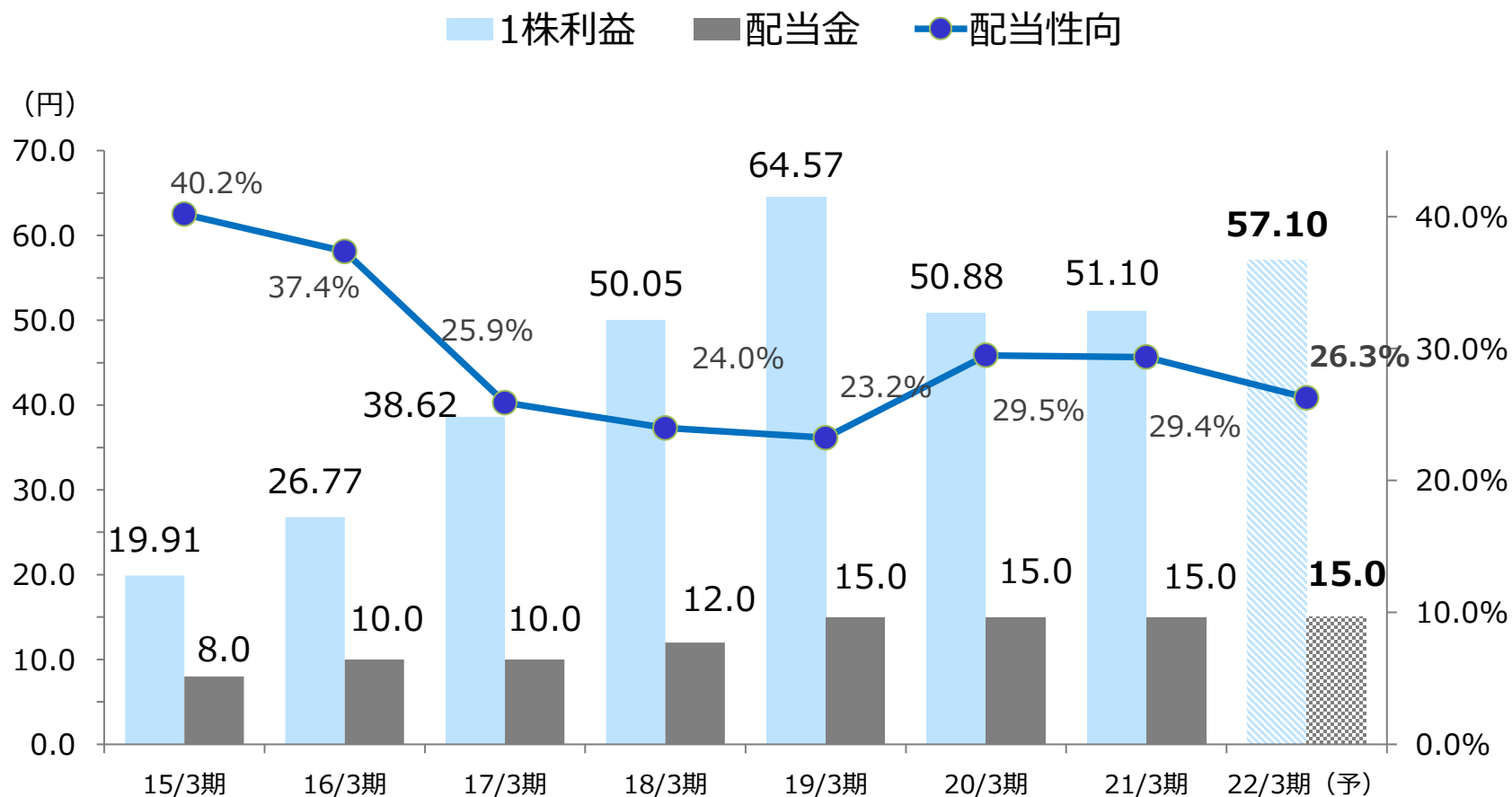
2022年3月期は円安、原油高の影響もあり営業減益の予想

売上高 190.0億円 伸び率 +4.2%* (*注) 増収率は実質ベース
営業利益 9.2億円 ▲15%



IV. 株主還元

22/3期の配当金は15円/株を計画



対象となる株主様

9月30日現在、5単元（500株）以上保有の株主様が対象。

優待内容

2021年8月6日に長期保有の株主様への優待制度を見直し

12月



※2021年12月の優待品

3年未満保有の株主様
自社製品 **3,000円相当**

12月

【12月上旬】

3年以上保有の株主様
自社製品 **6,000円相当**

(3,000円相当×2回)

12月

【12月上旬】・【7月上旬】

7月

7月



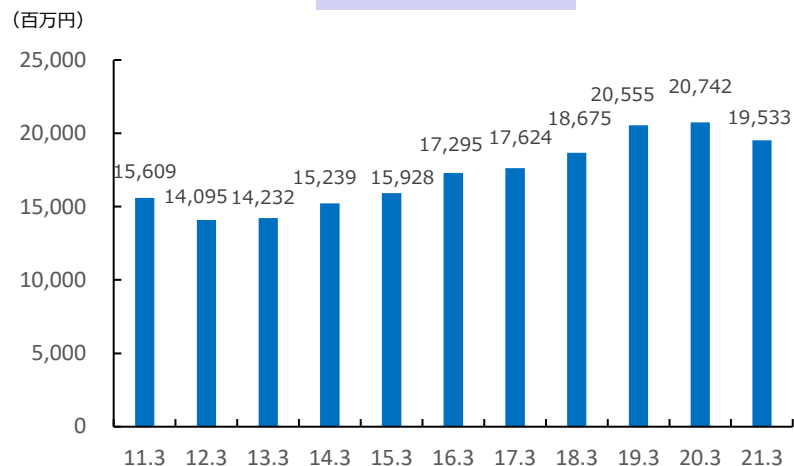
※7月優待品のイメージ

参考データ

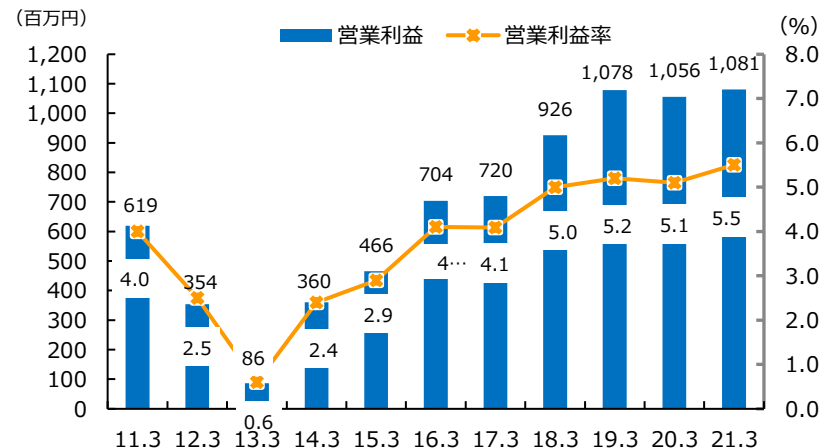
- 1946年 10月 栃木県真岡市に創業、カaramelの製造販売開始。
- 1963年 5月 スプレー・ドライヤーを新設し、粉末食品の生産開始。
- 1967年 7月 茨城県水戸市に工場を新設。
- 1971年 11月 真岡工業団地に真岡第二工場を新設。
- 1972年 5月 太陽食品包装株式会社設立。(現：仙波包装株式会社)
- 1974年 3月 真岡第二工場の第2期増設完了。フリーズ・ドライ製品の生産開始。
- 1977年 9月 本社工場に造粒設備を新設。
- 1979年 9月 スプレー・ドライヤー及び造粒設備増強のため真岡第三工場を新設。
- 1988年 9月 水戸工場を真岡第三工場へ移転。
- 1990年 7月 株式会社東北センバを設立し、冷凍山芋の生産開始。
- 1991年 1月 福建龍和食品実業有限公司を共同で設立。
- 1994年 11月 資本金13億4,050万円に増資。日本証券業協会に株式を店頭登録。
- 2001年 8月 資本金15億50万円に増資。
- 2003年 11月 福州仙波食品有限公司（現：福州仙波糖化食品有限公司）を設立。
- 2006年 4月 真岡第二工場に昆布エキス製造工場を新設。
- 2006年 9月 真岡第二工場に粉末茶製造工場を新設。
- 2007年 4月 冷凍和菓子の生産開始。
- 2007年 8月 真岡第二工場に鰹節エキス調味料設備を新設。
- 2011年 5月 真岡第三工場スプレー・ドライヤーS&B。
- 2012年 11月 株式会社東北センバ大館新工場稼働。
- 2016年 10月 SEMBA-NFC設立。
- 2017年 4月 真岡第二工場焙焼製品新工場稼働。
- 2018年 1月 福建龍和食品実業有限公司を子会社化。
- 2019年 3月 SEMBA TOHKA VIETNAM設立。
- 2021年 9月 ベトナム新工場完成

主要財務データ①

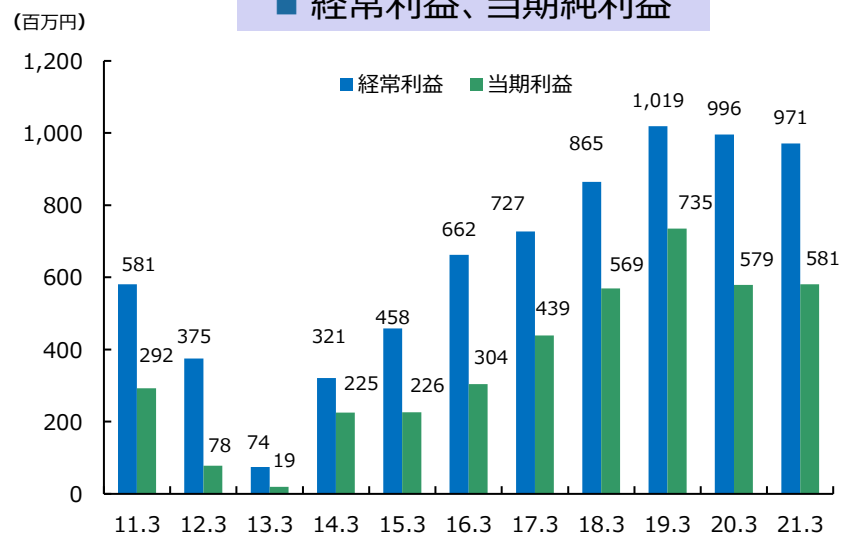
■ 売上高



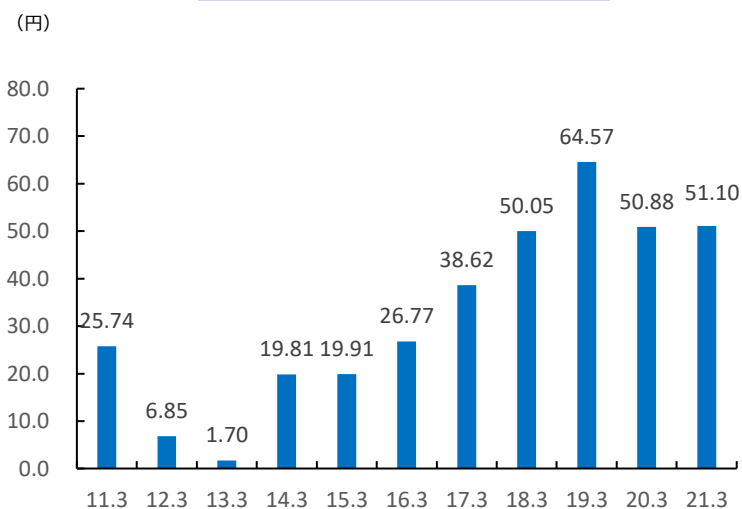
■ 営業利益



■ 経常利益、当期純利益



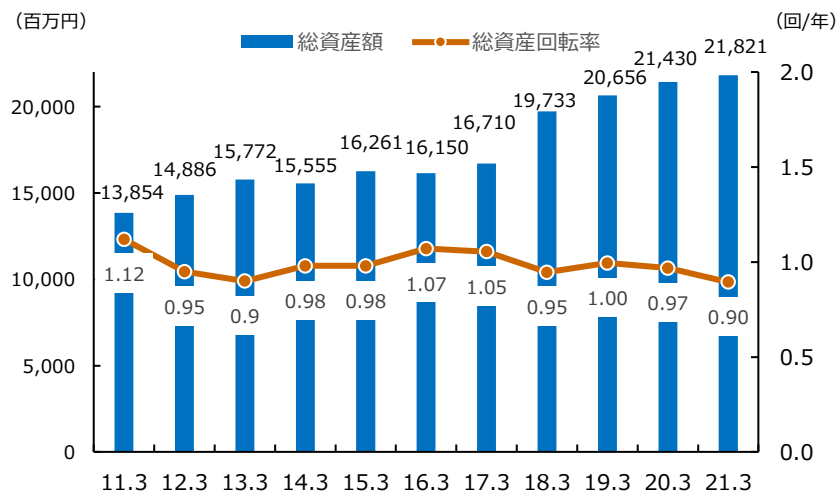
■ 1株当たり当期利益



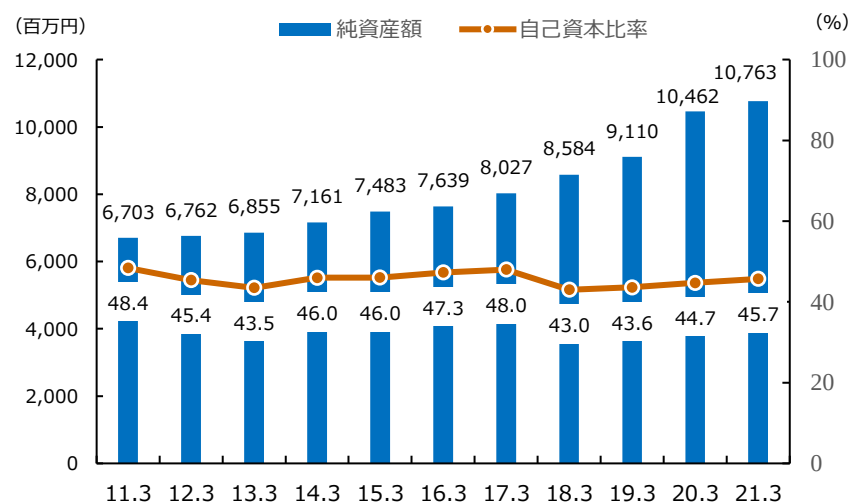
旧会計基準ベース

主要財務データ②

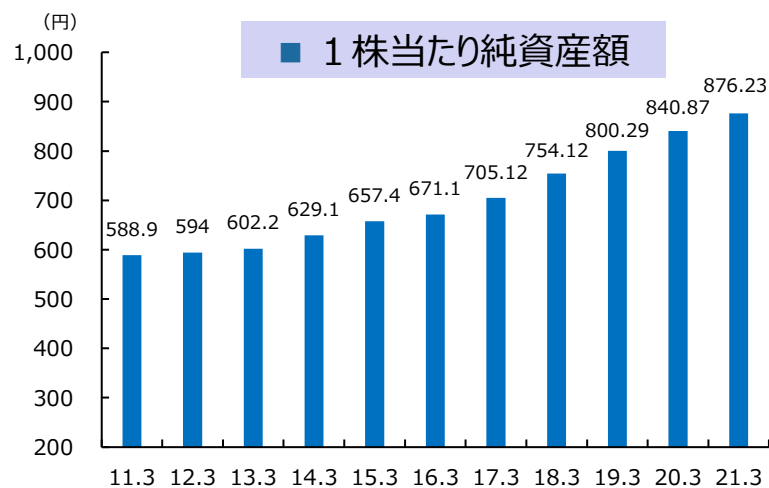
■ 総資産、総資産回転率



■ 純資産額、自己資本比率



■ 1株当たり純資産額



〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。